※令和４年度以降入学生用

学校番号	414

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（筑摩書房）						
副教材等	「語彙力をつける　入試漢字 2600」（筑摩書房） 「基礎現代文　大学入学共通テスト対策新装版（解答書冊子タイプ）」（尚文出版） 「新版七訂　新訂総合国語便覧」（第一学習社） 「国語便覧ワークノート」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文章を読むことを通して、考える力・表現する力をつけることができます。そのための基礎としての語彙や漢字は繰り返し学習し自分のものとしましょう。さらに自ら進んで、様々な文章に親しむようにしてください。自分の考えを文章で表現したり、発表しあったりすることで、自分の考えを深めていきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	1 問うこと、語ること ［教材］ 「サイエンスの視点、アートの視点」 齋藤亜矢 （p. 16～p. 23）	a 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b 【話すこと・聞くこと】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 c 教材の内容に関心を持っている。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	2 評論文への招待 ［教材］ 「ことばとは何か」 内田樹 （p. 30～p. 36）	a 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 b 【読むこと】 内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 【書くこと】 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c 教材の内容に関心を持っている。ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	2 評論文への招待 ［教材］ 「デジタル社会」 黒崎政男 （p. 37～p. 42）	a 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やしている。主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 b 【読むこと】 内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 c 教材の内容に関心を持っている。ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	3 ことばで伝える思いと考え ［教材］ 「ことばがつくる女と男」 中村桃子 （p. 56～p. 62）	a 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 について理解し、使うことができている。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。 b 【書くこと】 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c 言葉とアイデンティの問題に関心を持っている。ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認

※令和４年度以降入学生用

	4 情報と推論 ［教材］ 「社会を作ることば　情報の整理と活用」 （p. 100～p. 104）	a 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 b 【読むこと】 新聞など実用文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c　情報を整理したり活用したりする学習の内容に関心を持っている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査 発表の評価	行動の観察と確認
二学期	5「話し合い」から「議論」へ ［教材］ 「誰かの靴を履いてみること」　ブレイディみかこ （p. 106～p. 115）	a 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。 b 【書くこと】 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【話すこと・聞くこと】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 c　教材の内容に関心を持っている。 ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	5「話し合い」から「議論」へ ［教材］ 「〈私〉時代のデモクラシー」宇野重規 （p. 116～p. 123）	a 常用漢字の読みに慣れ主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 b 【話すこと・聞くこと】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 c　教材の内容に関心を持っている	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認 発表の評価
	6「根拠」から「主張」へ ［教材］ 「魔術化する科学技術」若林幹夫 （p. 128～p. 134）	a 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。 b 【読むこと】 内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c　教材の内容に関心を持っている。ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認

※令和４年度以降入学生用

	7 伝えること、受け止めること ［教材］ 「ポスト真実時代のジャーナリズム」 国谷裕子 （p. 152～p. 157）	a 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 b【話すこと・聞くこと】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【書くこと】 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c　教材の内容に関心を持っている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
三学期	7 伝えること、受け止めること ［教材］ 「記憶する体」 伊藤亜紗 （p. 163～p. 171）	a インタビューによって書かれた本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b【話すこと・聞くこと】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。 【書くこと】 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c　教材の内容に関心を持っている。 積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	10 複眼的な視点 ［教材］ 「開かれた文化」 岡真理 （p. 212～p. 219）	a「　」を用いた語句と用いない語句の使い分けを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b【読むこと】 内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c　教材の内容に関心を持っている。 ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　30　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　10　）時間